

令和元年七月十二・十三日に『第六十五回関東地区高等学校PTA連合会大会埼玉大会』が大宮ソニックシティで開かれ、当校から天野教頭先生と堀内、佐野両副会長を含め四名が参加しました。

大会テーマは「絆を深め、新しい時代を担う子どもたちを育てよう」。令和の夏、学び続けるPTAの熱い風が吹くでした。

会場の二、五〇〇席がほぼ満席で、記念講演は向井亜紀さんが「夢が生きる力になる」と題して、苦難の人生を語つてくれました。

PTA会員の皆様には、日頃よりPTA活動に御理解と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

三年前に一年次部会長をお受けすることになつてからPTA役員の皆様と仕事に携わらせて頂き、昨年四月のPTA総会にてPTA会長という大役を仰せつかつてから、早いものでもうすぐ一年を迎えようとしています。

四月のPTA総会より本年度が始まり、五月には山梨県PTA連合会理事会、六月には第一回常任役員会、同窓会大月支部定期総会と、立て続けに会合がありましたが、多くのPTA役員の皆様方や都留高校の先輩方とお話を寄り水分補給をしました。仕事の合間に水ボランティア活動が大成功に終わり、女性部長をはじめPTA役員の皆様には深く感謝申し上げます。

さて、都留高校は令和一年に創立二十周年を迎えます。一月二日三日に



PTAも参加した大縄跳び（体育祭にて）

行われた箱根駅伝が百回目ですので、都留高校の伝統はすばらしいと卒業生の一人としても誇りに思います。そして都留高校の卒業生が御健康で、ますます御活躍なされ、在校生の皆さんのが先輩方の栄光を見て大きく育つていただければと祈念致しております。

重ねて、今後も都留高校PTAに理解と御協力をよろしくお願ひいたします。

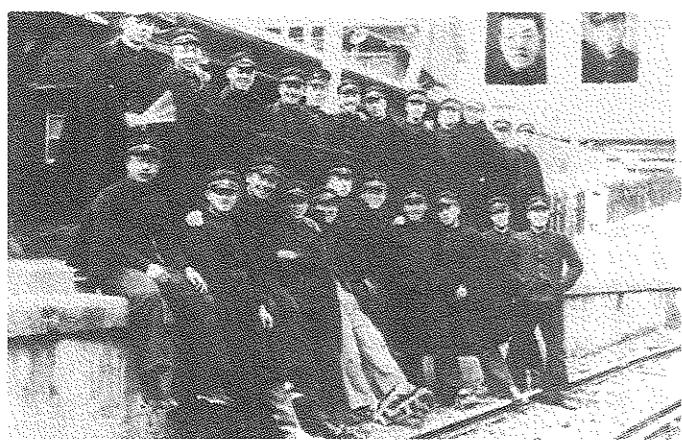
令和二年は都留高校創立百二十周年

PTA会長 湯山知英

平成31年3月1日発行
都留高校PTA 印刷業大月プリント社

都留高PTAだより

令和二年三月一日



「上大月駅で電車通の生徒たち」百年の階より

「都留高校前駅記念入場券」受け渡しセレモニー
堀内富士急行社長と生徒代表

（前略）谷村方面からは、「テト馬車」と呼ばれた鉄道馬車が走っていましたが、値段が高く所要時間は大月―谷村間を一時間半も要した（中略）大正十四年九月には岳麓鉄道（正式には富士山麓電気鉄道、現富士急行線）が開通となりました。

（通学や学校生活）

（戦時下都留中生活の思い出）

駅名が教えてくれること

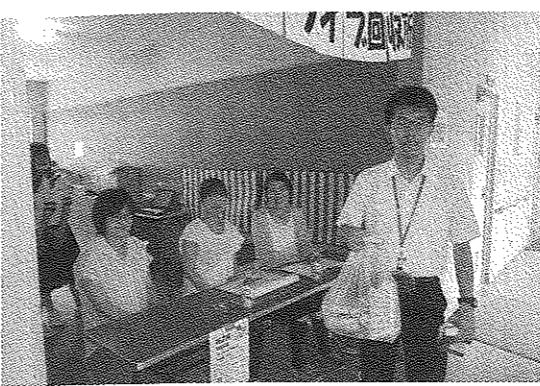
学校長 渡邊信介

本年度もPTAだよりを発行する事ができ、大変うれしく思います。

三年間役員として活動に携わらせて頂く中で、多くの子供達と接し、とても楽しく役員を務める事ができました。

本紙発行あたり、お忙しい中寄稿してくださいました先生方、役員の皆様には深く御礼申し上げます。

（後略）



今年度、支部役員として若鶴祭に、フードドライブの回収と記録のお手伝いをさせて頂きました。集められた食品は、フードバンク山梨を通して県内の子どものいる生活困窮世帯に届けられます。

お菓子を持つて喜んでくれる人がいるなら嬉しい。」

と笑顔で話してくれました。最終的にダンボール箱十三個も食品が集まつたそうです。食品ロスがある一方、子どもの貧困が社会問題になっています。都留校の生徒は、これららの問題も理解し積極的に協力していると感じました。

今回フードドライブに関わることが出来て良かったです。

大会テマは「絆を深め、新しい時代を担う子どもたちを育てよう」。令和の夏、学び続けるPTAの熱い風が吹くでした。

会場の二、五〇〇席がほぼ満席で、記念講演は向井亜紀さんが「夢が生きる力になる」と題して、苦難の人生を語つてくれました。

二日目の、第三分科会「生徒指導とPTA」では、群馬県立渋川高校PTAが「文武両道を支えるために」と題して発表がありました。渋川高校は創立百年を迎える進学校で、歴史、校風とも都留高校によく似ており、PTA活動にも共感できるものが多くありました。また、埼玉県立ふじみ野高校PTAからは「地球に愛され、地域社会に貢献できる人材育成のためにできるることは」と題した発表がありました。合併により五年前にできた新しい学校であるが故、PTA一丸となって努力

する姿勢に、初心に立ち返る大切さを感じました。両校の発表は、参考になることが多い、山梨県内の各PTAとの交流もできることにより、とても中身の濃い一日目でした。

（後略）

関東地区高等学校PTA連合会に参加して

三学生副部会長 天野慎二

令和元年七月十二・十三日に『第六十五回関東地区高等学校PTA連合会大会埼玉大会』が大宮ソニックシティで開かれ、当校から天野教頭先生と堀内、佐野両副会長を含め四名が参加しました。

大会テーマは「絆を深め、新しい時代を担う子どもたちを育てよう」。令和の夏、学び続けるPTAの熱い風が吹くでした。

会場の二、五〇〇席がほぼ満席で、記念講演は向井亜紀さんが「夢が生きる力になる」と題して、苦難の人生を語つてくれました。

二日目の、第三分科会「生徒指導とPTA」では、群馬県立渋川高校PTAが「文武両道を支えるために」と題して発表がありました。渋川高校は創立百年を迎える進学校で、歴史、校風とも都留高校によく似ており、PTA活動にも共感できるものが多くありました。また、埼玉県立ふじみ野高校PTAからは「地球に愛され、地域社会に貢献できる人材育成のためにできることは」と題した発表がありました。合併により五年前にできた新しい学校であるが故、PTA一丸となって努力

知・好・楽のPTA活動

伊藤利花

今年度の体育祭におきましても昨年に引き続き二回目のPTAによります給水ボランティアを行いました。熱中症対策を目的とした水分・糖分・塩分の補給を行いうもので、九月の終わりにもかかわらず汗ばむ陽気でしたので用意した麦茶やスポーツドリンクは完飲しました。生徒達の一生懸命に取り組む姿や挨拶する姿などとてもうれしく楽しく清々しい気持ちとなりました。閉会式で教頭先生の話でとても印象深い一節がありました。

汗ばむ陽気でしたので用意した麦茶やスポーツドリンクは完飲しました。生徒達の一生懸命に取り組む姿や挨拶する姿などとてもうれしく楽しく清々しい気持ちとなりました。閉会式で教頭先生の話でとても印象深い一節がありました。

「知好楽」何をやるにも知つている人より好きである人が勝つたり、更に好きだけの人より楽しむ人が勝っている。つまり何事も楽しんでやっていける鍵も又、「楽」なのでしょう。まさに都留高生のパワーの源であると実感しました。又、私達PTAの活動も「知好楽」そのものでありました。そして今後の改善活動を成功させます。感謝申し上げます。

（後略）

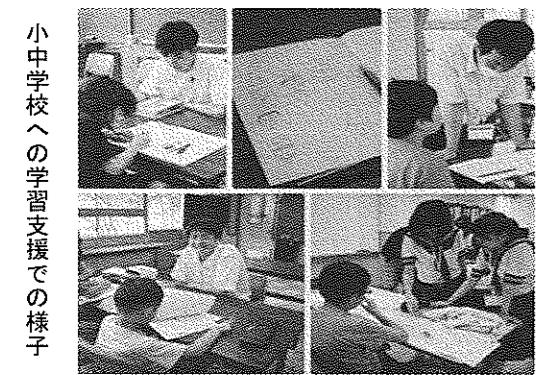
様々な点で大きく入試が変化しようとしています。入試一年前に迫った現高校二年次の受験においては十分な対応ができないことからそのうち何点かは実施が見送られることになりました。高一生にとってはさらに不透明さが表れます。しかし、世の中が、グローバルな人材育成と知識偏重の学力から思考力を重視した学力の育成を考え、入試間

保護者の皆様には、日頃より本校進路指導部の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

毎日、生徒は授業と部活動および学校行事に取り組み、放課後や休日にも学習に励んでいます。特に昨年自学研鑽室の整備を行い、毎年購入し

SAクラス運営について、今年度は「縦つながり」を意識して、三年次合同のSAミーティングやSAキャンプ、探究講座「社会と数学」、「医療を考える会」も行われました。

このうち近隣小中学校への訪問などが行われました。グローバル研修の分野では都留文科大学留学生との交流や進体験分野では県内先進企業として首都大学訪問、都留文科大学訪問、近隣小中学校への訪問などが行われました。学習支援がありました。先の学習支援がありました。先進のSAプロジェクト」



R 1 「都留高探究プロジェクト」 主な研究テーマ

- 君は地域おこし協力隊を知っているか
- その日本語はどこまで英語で通じるか
- 大空襲を次世代に伝える
- 民話で地域の活性化を考える
- 小中学校の数学の授業をつくろう
- 万葉集って何?
- 外国人観光客が日本に求めるものとは?
- 脱 SNS 依存
- 医療(10年、20年先の社会を見据えて)
- 甲州弁翻訳アプリをつくろう
- 気候変動が及ぼす海への影響
- 住みやすいまちにするために、私たちができること
- 犯罪を防ぐには?
- 大月で効率よく再生エネルギーを生み出すには
- 持続可能な農業
- 大月市のバリアフリー

S A プ ロ ジ エ ク ト に つ い て

連携推進主任 木 内 政 美

五月から仕事を引き継いで早十ヵ月。君のやりたかったことの半分もできないまま生徒の卒業を迎ってしまった。あつさりコラム演習を止めてしまったり、早朝課題を始めてしまつたり。「やりたい放題だな」なんて陰口を叩かれても前に進むしかない。これでもいろいろ悩んだし、寝不足で欠伸ばかりしていたし。結局年次の先生方に助けてもらわなければ何もできなかつた。

そういえば一昨年の年次開きで君は「皆さんは俺が選んで入つてもらつた」と言つていたよね。驚いたよ。本当に自分を選んだの?でも何も協力できないまま過ごしてしまつた。逆に他の先生方は、よく生徒の面倒をみてくださつた。

令和元年度「都留高探究プロジェクト」について

総合企画係 山 崎 一 良

題からその内容が随所に取り入れられた新入試が始まりますので確かな学力の育成を目指して下さい。

最後に、三年次生の一月までの進路状況は、推薦入試制度などで、筑波大学、東京都立大学、山梨大学等に百名ほどが進路決定をしております。

今年は大学入試センター試験最後の年です。来年度から

保護者の皆様には、日頃より本校進路指導部の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

毎日、生徒は授業と部活動および学校行事に取り組み、放課後や休日にも学習に励んでいます。特に昨年自学研鑽室の整備を行い、毎年購入し

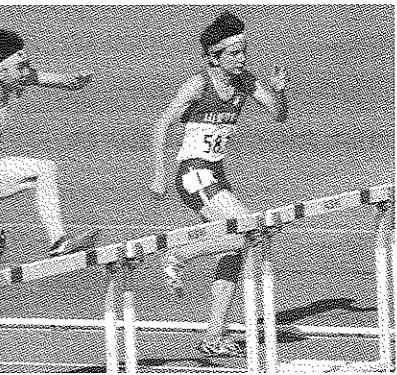
新入試制度を見据えて

進路指導主任 七 澤 浩 彦

最後に保護者のみなさま、お子さんの進学先に都留高を選んでください、ありがとうございます。

最後に保護者のみなさま、成長したかな。外見はあまり変わらないように見える生徒も、心は大きく成長したよね。みんな「命の大切さ」を十分に刻んだ、それも君のおかげだ。

最後に保護者のみなさま、成長したかな。外見はあまり変わらないように見える生徒も、心は大きく成長したよね。みんな「命の大切さ」を十分に刻んだ、それも君のおかげだ。



生徒会活動

生徒会指導主任 笠 井 寛 仁

都留高校では、今年度も九割近くの生徒が部活動に参加しております。保護者の方々の御支援あつ

ての賜物と感謝申し上げます。

これは、生徒の努力はもとより、保護者の方々の御支援あつての賜物と感謝申し上げます。

五月の県高校総体では学校別順位で男子が十位、女子が二十位の成績でした。水泳男

女が準優勝、男子バドミントン部が三位、空手女子が団体形で三位に入る活躍を見せました。全国大会には水泳部、

関東大会には、男子バドミントン部が三位、空手部、ワンダーフォード部、卓球部、陸上部が出場を果たしています。

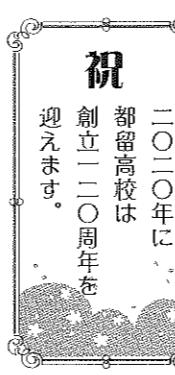
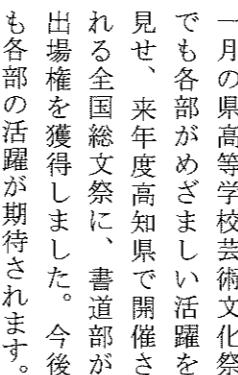
一方、八月に佐賀県で開催された全国総文祭には、書道部、写真部、自然科学部、新

聞同好会が出席しました。十

月の県高等学校芸術文化祭でも各部がめざましい活躍を

見せ、来年度高知県で開催される全国総文祭に、書道部が

出場権を獲得しました。今後も各部の活躍が期待されます。



小林先生へ

三年主任 鈴木 康弘

五月から仕事を引き継いで早十ヵ月。君のやりたかったことの半分もできないまま生徒の卒業を迎ってしまった。

あつさりコラム演習を止めてしまつたり、早朝課題を始めてしまつたり。「やりたい放題だな」

なんて陰口を叩かれても前に進むしかない。これでもいろいろ悩んだし、寝不足で欠伸ばかりしていたし。結局年次の先生方に助けてもらわなければ何もできなかつた。

そういうえば一昨年の年次開きで君は「皆さんは俺が選んで入つてもらつた」と言つていたよね。驚いたよ。本当に自分が選んだの?でも何も協力できないまま過ごしてしまつた。逆に他の先生方は、よく生徒の面倒をみてください。

五月から仕事を引き継いで早十ヵ月。君のやりたかったことの半分もできないまま生徒の卒業を迎ってしまった。

あつさりコラム演習を止めてしまつたり、早朝課題を始めてしまつたり。「やりたい放題だな」

なんて陰口を叩かれても前に進むしかない。これでもいろいろ悩んだし、寝不足で欠伸ばかりしていたし。結局年次の先生方に助けてもらわなければ何もできなかつた。

小中学校への学習支援での様子